

ファイル交換ソフトの使用中止・Microsoft 製品サポート期限など 個人情報流出防止についての留意事項

昨今、省庁・企業等で個人情報がインターネット上に流出する事故が多発し、ニュースで報じられることも多くなっております。

東海大学校友会各会（後援会・白鷗会・同窓会等）で個人情報を扱う役員の皆様は、以下のとおり個人情報の流出防止に努めていただきますようお願いいたします。

記

必ずお守りいただきたいこと

1. 家族等で共有しているPC、タブレット端末（以下PC等）で個人情報を扱わない。
（ログイン時にパスワードを設定しておくことが望ましい）
2. ファイル交換ソフト（P2P ソフト）がインストールされたPC等では個人情報を扱わない。
3. PC 等及び記憶媒体（USB メモリ等）に個人情報を保存する場合は、パスワード保護・紛失防止等の適切な処置をとる。
4. ウィルス等、悪意のあるソフトウェアへの感染が疑われる場合は、直ちに PC 等をネットワークから切り離すなど、情報流出の遮断処置を講じる。
5. クラウド（OneDrive・iCloud 等）に個人情報を含むデータを同期している場合は、個人情報管理者以外に共有アクセス権が無いことを確認する。
6. セキュリティ対策ソフトがインストールされていることを確認するとともに、定義ファイルが最新の状態に更新されていることを確認する。
7. OS・各ソフトウェアの脆弱性が改善されるよう、最新の修正プログラムを適用する。可能な限り最新の OS・オフィスソフトを使用する。

OS や各ソフトウェアにはサポート期限があります。サポート期間終了後は、セキュリティ更新プログラムを含むすべてのサポートが受けられなくなります。セキュリティ更新をせずソフトウェアを利用し続けることは、脆弱性を解決しないまま使用し続けることになり、セキュリティ上、非常に危険な状態になります。

参考：個人情報お役立ち情報（個人情報保護委員会）

<https://www.ppc.go.jp/news/publicinfo/>

Office 製品サポート終了の重要なお知らせ（マイクロソフト）

<https://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/article-windows10-portal-eos.aspx>